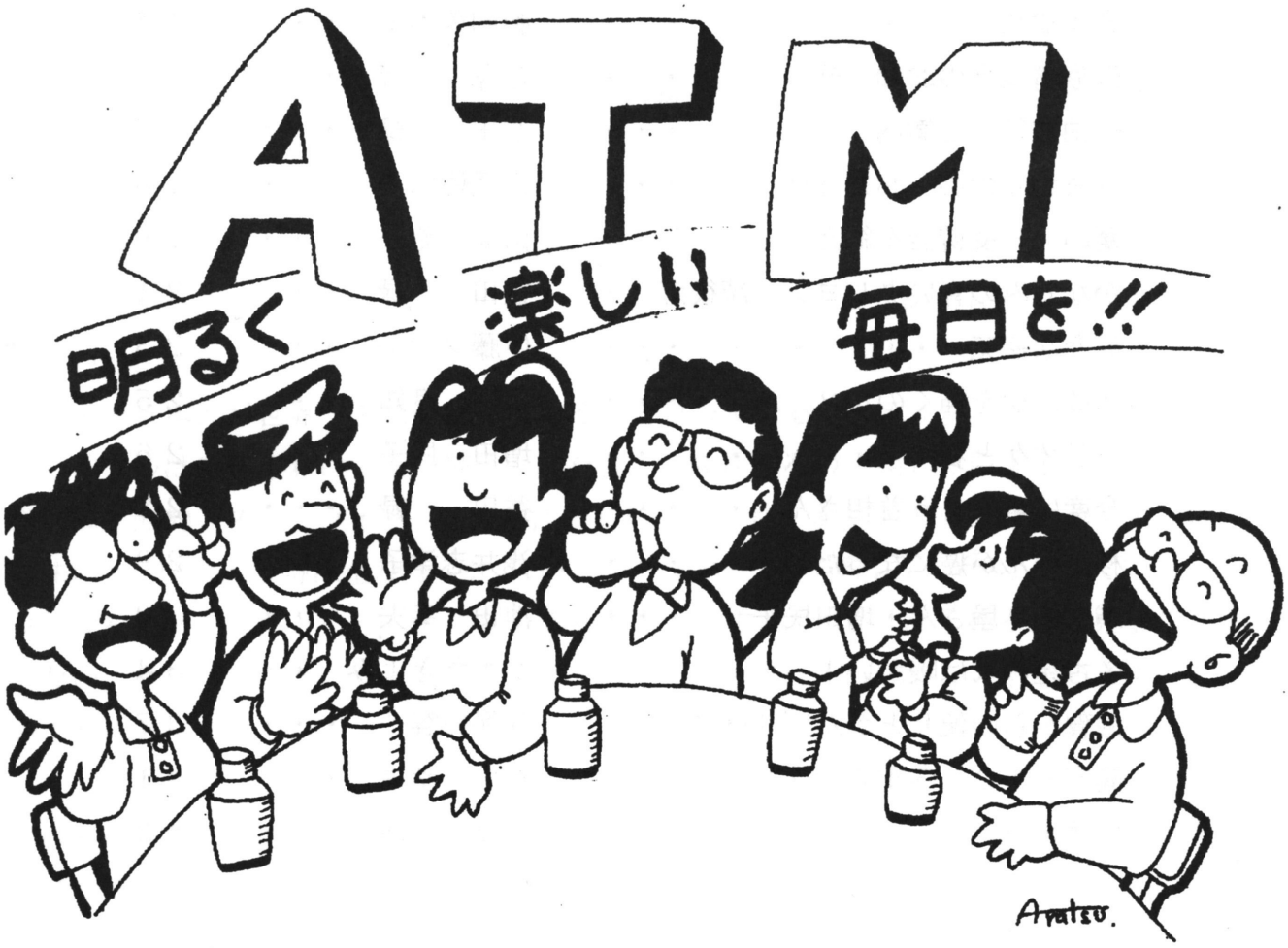
１９７１年８月　７日第３種郵便物認可　毎月１・６の日発行
２０１１年９月２４日発行　　増刊通巻７３７９号

SSKA　一般社団法人
全国パーキンソン病友の会会報
愛知県版　５９号



少しうれし十月の岬思ふとき　　加倉井秋を

１０月・１１月の行事予定

１０月　１日、１１月　５日	・・・	役員会・東海市事務所
１０月１１日、１１月　８日	・・・	音楽療法・名大病院ナデック
１０月２０日	・・・　・・・	ひまわりの会・熱田図書館
１０月２２日	・・・　・・・	講演会・豊田産業文化センター
１１月１９、２０日		一泊旅行・知多ビラ・マリーン

目　　次

被災地を照らす月	・・・　・・・	益田　利彦　・・・	3ページ
望	・・・　・・・　・・・	山尾　武史　・・・	5
薬の話	・・・　・・・　・・・	平山　正昭　・・・	6
EBMとオーダーメード	・・・	渡辺　宏久　・・・	１０
音楽療法	・・・　・・・　・・・	鵜飼久美子　・・・	１４
医療講演会のお知らせ	・・・	越澤　博　・・・	１６
一泊旅行のご案内	・・・	益田　緑　・・・	１７
ひまわりの会　お知らせ	・・・	山尾佐知子　・・・	１８
夏の一日交遊会を終えて	・・・	山本　芳夫　・・・	１９
かなしみの青いクレヨン・読後感	・	益田　緑　・・・	２１
厄介な病気　・・・　・・・　・・・		伊藤フサ子　・・・	２３
何故、絵を描くのか？　・・　・・・		山田　良知　・・・	２５
カラオケと私　・・　・・・　・・・		増田　民子　・・・	２６
今度はどじょう首相さん　・　・・・		益田　緑　・・・	２８
杉山さんが癌になった　・・　・・・		浅井志津子　・・・	２９
がんばり屋さん・増田民子	・・・	池田　幸夫　・・・	３２
名古屋の女は暖かい！　・・　・・・		かまたきよみ　・・	３４
滋賀からの便りとがんばり屋さん		久保田容子　・・・	３７
健康―１２　冬季の心筋梗塞　・・・		池田　幸夫　・・・	４１
竹頭木屑	・・・　・・・　・・・	越澤　博　・・・	４３

被災地を照らす月

会長　　益田利彦

今年度この６ヶ月は、東日本大震災に始まり、新潟・福島水害、そして９月３日の台風12 号による紀伊半島の豪雨災害と大災害があとを断たない。本当に未曾有の災害なのか、これ等の災害はすべて想定出来たのではないだろうか。ただ防災に無制限の金をかけることの出来ないことは誰でもわかる。しかし人命第一の防災は最大限やらなければならない。２万人の命を奪ったこれ等の災害には、今度こそ三位一体で復旧・復興に当たらなければならない。

９月２日、野田内閣が発足しました。「泰山は土壌を譲らず」と言います、どんな小さな意見もうけ入れ泰山となってこの復旧・復興と言う大事業を成し遂げていただきたい。また野党は耳かきで土壌（ドジョウ）を掬うことばかりしないで、「河海は細流を択ばず」の精神で、被災者のため日本復興のためこれ等災害の復旧・復興には超党派で協力していただきたい。また被災者の中には多くの難病患者が居ます、被災者以外にも多くの難病患者が居ます。災害対策を理由に福祉の後退があってはなりません、要求と監視はしっかりやりましょう。

さて話は変わりますが。江戸東京博物館館長の竹内誠先生が「江戸の暮らしに学ぶ」と題して今春講演された記録を拝借します。その中で外国人が見た徳川日本として紹介されている、イギリスの園芸学者ロバート・フォーチュンが「幕末日本探訪記」を書き、その中で日本人が世界一園芸愛好家である、と言っているそうです。
花と言うのは自然なわけで種を植え、苗を育て、成長するのを楽しみにする、これは現代とは対照的「スローライフ」です。江戸時代人は自然のあるがままに時を過ごす、時を味わう。現代人は時は金なり「タイム・イズ・マネー」と時間に追いかけられている。少し身を引いて自然というものに身を委ねることが重要です。月などめったに見ることもない。やはり自然とともにという人間の心、これを忘れてはいけないと思います。このように述べられている。

私は友の会では、患者ではなく健常者と言われます、しかし健常ではありません。最近思考力低下を痛感しています。又腰痛に悩まされています。しかし友の会の皆さんの体験などを見聞きしていると、自分の悩みなどお恥ずかしいかぎりです。音楽療法、リハビリ体操などは付き添いではなく、自分のためと思い受講しています。

何でも参加、何でも体験、これが最大のリハビリと思います。昔フランスのクーベルタン男爵がオリンピックは参加することに意義がある、と言ったそうですが、今は商業主義を取り入れ、勝つこと至上主義となっており、面白いが少し淋しい気もします。
やはり江戸時代のスローライフや、クーベルタンの参加に意義あり、これも良いのではないでしょうか。　タイム・イズ・マネーや勝つこと至上主義ではドーパミンも出ません。

9月12日、正確には13日1時頃床からふと窓を見ると昼間のように明るい。カーテンを開けると中秋の名月、十五夜の満月が天空に一つ、時々薄雲にかかり瞬きをする。しばし窓に寄りかかり観賞に没頭する。しばらくして床に入ると丁度寝たまま月見が出来る、何十年もこの部屋で寝起きしているのにこんな感傷的月見は初めてである。そこであの李白の詩「静夜思」を思い出した。

牀前月光を看る　疑うらくは是れ地上の霜かと
頭を挙げて山月を望み　頭を低れて故郷を思う

寝室が2階のため地上の霜のごとき景色は無かったものの、李白が床から見た月はまさにこの月であったのだ。そんなことを思いながら横たわっていると何時しか眠ってしまったようだ。

翌朝新聞を見ると一面の左に大きな写真、「名月被災地照らす」と添え書きされて、東日本大震災で岩手県陸前高田市の、一本だけ津波で生き残った海岸沿いの松の後方に満月が昇り、家一つ無い瓦礫の後方に月光に照らされて赤白く輝く海の写真である。
月明かりで見る津波に流された瓦礫の山、行方不明者を飲み込んでいるであろう海、この不気味さ、ただ一本だけ生き延びることが出来た松の生命力、そして天に静かに輝く月の暖かさ。この一枚の写真が全てを語っているように思えました。私にはドーパミンが発生したように思えます。

友の会の皆さんは、日々病と付き合わねばならない、病との戦いを、病との付き合いに変えるためにも、痛みを忘れるためにも、少しでも心にゆとりを持ち、明るく楽しいときが最もドーパミンが発生するそうです。内にこもらない、外に発散し、会合には参加しましょう、知識も習得できます、リハビリも出来ます、友と語らい、出れない方は会報を通じ意見を交わしましょう、いまさら背伸びはやめましょう、柔軟体操で結構です。
—　明るく、楽しい、毎日を（ATM）—　を心がけましょう。

望

副会長　　山尾武史

今、一番望むこと、一番出来ることは何でしょう。各々一人ひとり考えること、思うことには違いがあることでしょう。体のこと、生活のこと、一日の動き、働き等多くのことがありますが、一番切羽詰って考え、解決しなければならないのは体調不良＝病＝のことでしょうね。このことはなかなか難しいことでありますが一番切羽詰っていることじゃないでしょうか。他人から見れば何のこともないように思いますが、当人にしては最大の苦痛であり、解決したいことであると思います。

何も心配がないように思っても、そのことが重荷であることが沢山あり、人々が抱えている問題であり、頭を痛めていることであると思います。誰しもこの問題を少しでも早く、一刻も早く取り除きたく努力しているのですがなかなかうまくいきません。
では、どうすれば解決できるのでしょうか。ひとり、ひとり解決する方法が解っているようで解らないのが本当だと思います。そのため各自、主治医の先生にお任せして治療をしていることと思いますが・・・

誰しも、先生にその辛さを思う存分話しているでしょうか。本人が言葉で話すよりほかにないでしょう。辛いのは解っているのだが、そのことを如何に説明し、話したらよいのやら、自分の頭の中で言いたいことが整理できないから話すことができないのではないかとおもいます。主治医の先生は体の調子（辛いこと）はよく解っておられると思います。だから、辛さを具体的に箇条書きにしてお見せすればわかっていただきやすいと思います。その日その日によって苦痛の度合いが違います。その時々の辛さを具体的に記録し、お見せすれば先生にも解っていただけると思います。なんべんも言うようですが病状を的確にお知らせすることが大切です。自分自身のために頑張るより仕方ないのです。

明日は明るい快晴の日が待っていますよ！　一度の人生を楽しく、皆で肩を組み、笑顔の日々を迎えまた送ろうではありませんか。そして、腹の底が抜けるほど、腹の皮がよじれるほど笑い飛ばしましょう。楽しい日々が続きますよう笑い、笑い・・・
如何でしょうか。すっきりしたでしょう。笑顔を皆で楽しみましょう。

薬の話

名古屋大学　　**平山正昭**

すみませんが、講演などが続いていて全く時間がないので、今回は、9/23 日の高松で初心者の医療関係者用の講演会で話す内容の解説書を 2 回に分けて載せることにします。古くから使われている薬の解説です。

1　塩酸トリヘキシフェニジル（アーテン）

塩酸トリヘキシフェニジル（アーテン）は、1949 年にパーキンソン病の治療薬としては報告されたものです。それ以前にはパーキンソン病の治療にスコポラミンという朝鮮アサガオから抽出していたアルカロイドが使用されていました。しかし、脳内への移行が悪く、末梢神経の自律神経に対する作用が強いため、普通量使うと脳には軽度に眠気などを起こす程度で、抗パーキンソン病作用はあまりありませんでした。そのため、抗コリン作用である唾液分泌の低下や目の調節障害が出てしまって使いにくい薬であったのです。そこで、脳への移行がよい薬として塩酸トリヘキシフェニジルが誕生しました[1]。作用としては、アトロピン類似の抗コリン作用を呈し，また平滑筋自身に対する弛緩効果も加わり平滑筋の痙攣を寛解するが，その効果はアトロピンの 1/2 といわれています。神経系に対する作用は，ベラドンナアルカロイドに類似し，動物でニコチンおよびトレモリンによる振戦を消失させ，またパーキンソン症候群(特に動脈硬化性のもの)の筋硬直，振戦および抑うつ状態を寛解すると言われています。そのためか、昔はアーテンを振戦の強い人に使用していたのですが実は文献を見てもあまりほかの薬とは効果の違いがないということで、振戦の軽減ということで使われることはあまりなくなっています。その作用機序は以下のように考えられています。脳内線条体において，ドパミン系とアセチルコリン系は拮抗的に働いています．トリヘキシフェニジルをはじめとする抗コリン薬は，ドパミン系機能低下により相対的に亢進状態になったアセチルコリン系を是正することにより，抗パーキンソン病効果を発揮します．したがって、現在の L-dopa 治療のように悪い部分の補助でなく、本来正常なアセチルコリン系を低下させることでバランスをとる治療ですから特効薬というわけではなく、抗コリン薬はパーキンソン病の治療において，レボドパ治療の補助的な薬剤として使われています．ただし、使い慣れた薬ですし、吐き気のような副作用がないことや L-dopa をあまり増やしたくないのでといったことから使われることが多かったのです。唾液の低下や腸の動きを抑えて便秘になりやすいこと（しかし、これは、L-dopa やドパミンアゴニストでも起こります）などの副作用がありました。また、抗コリン作用があることから緑内障のある方には投与が禁忌です。しかし、現在アーテンの使用が減ったのにはこれらの副作用によるものではありません。認知症の原因として脳にある海馬というところやマイネルト核というところが変性することが知られるようになりました。このマイネルト核はアセチルコリン系の神経細胞があります。したがって、認知症の治療にはドネペジルというアセチルコリン系をよくする薬が使われています。先ほど書いたように塩酸トリヘキシフェニジルはアセチルコリン系を抑制する薬ですから、記憶障害が出現する可能性があります。実際、塩酸トリヘキシフェニジルには眠気や幻覚を起こす副作用があります。L-dopa を使わないためにアーテンを使うことが多かったのですが、最近はドパミンアゴニストという薬が L-dopa の使用を抑えるために使えますから無理して塩酸トリヘキシフェニジルを使わなくてもよくなりました。したがって、使用量も以前に比べて減っています。しかし、塩酸トリヘキシフェニジルにはジストニアを抑える作用やまれですが歩行が非常に改善する患者さんがいます。また、高齢者では認知症が心配となりますが、若年ではほぼ問題とならないために、現在でも若年者の初期の患者に使われることがあります。

2　塩酸アマンタジン（シンメトレル）

シンメトレル、一般名：塩酸アマンタジンは，1959 年米国で合成開発されたアジア A 型インフルエンザウィルスに対する抗ウィルス薬です．構造式は、対称形をしていると言うことから（シンメトリーな形）シンメトレルという名前がつきました。この効果は、インフルエンザのM2 蛋白を阻害してインフルエンザウイルスが脱殻することを抑制してウィルス粒子が構成できなくすることだそうです。残念ながら、B 型インフルエンザに効くわけではありません。1968 年に Schwab と England が，中等症のパーキンソン病患者にインフルエンザ予防のため本剤を 1 日 200mg（2 回に分服）服用したところ，パーキンソン病症状（筋固縮，振戦，無動）の明らかな改善を自覚し，6 週間後，服用を中止したら症状は元に戻ってしまった経験をしました[2]．さらに、彼らは 1969 年に 163 人の患者に対し，1 日 200mg（2 回に分服）投与することを開始し、有効性を確認しました．ただし、20%の患者さんにいらつき、不眠、腹部不快、食欲低下、ふらつき等がみられましたが、薬をやめると 36 時間以内に消失したそうです。また、この薬は 600 から 800mg 投与すると高齢者の脳血管障害患者では痙攣発作を誘発することがあるということで基本的な投与量は 300mg までとされています。本邦では 1975 年に発売開始となり，1990 年代に入って本剤のグルタミン酸毒性に対する神経保護効果の可能性が指摘されました。このように、パーキンソン病の治療薬として使われるようになったのですが、この効果は、L-dopa の様に強力なものではありません。また、前述されようにいらつきや不眠といった副作用以外にも、幻覚がでやすいといった副作用があります。特にこの副作用は、高齢者の方に多いものです。しかし、ジスキネジア，症状変動に対する効果が報告されるようになりました．また、パーキ

ンソン病では確かめられていないのですが、脳梗塞の患者さんでは塩酸アマンタジンで鬱症状に効果があるとする保険適応があります。そのため、元気のない患者さんに使うこともあります。

ジスキネジアに対してシンメトレルが何故効くかですが、最近塩酸アマンタジンにはN-methyl-D-aspartate(NMDA)受容体拮抗作用があることが明らかになっています。パーキンソン病の方でドパミンが足りないからうまく動けないといいますが、これは黒質で作られるドパミンを線条体というところにあるドパミン受容体が受け取ってうまく身体を調節する構造がおかしくなっているからです。NMDA受容体というのは、脳の中でグルタミンという神経伝達物質を受け取る部分です。NMDA受容体も基底核というパーキンソン病に重要な役割を持っている部分に多数存在していて身体の動きを調節しています。ハンチントン病という身体が勝手に動いてしまう病気では、このNMDA受容体が過度に興奮していると考えられています。その効果も考えてパーキンソン病のジスキネジアにも使われています。ただし、現在ガイドラインでは、効果持続は8ヶ月程度とされています。さらに最近では、パーキンソン病で時に見られる反復情動行動（一日中意味もなく同じことを繰り返すこと）[3]や病的賭博にも効果があると奉公されています。副作用としては、幻覚以外には網状青斑や足の浮腫が見られることがあります。

3　ドロキシドパ（ドプス）

パーキンソン病は、黒質が変性しそのためにドパミン神経が減少することで固縮や振戦などのパーキンソニズムが出現しますが現在では黒質だけが障害される病気でないことが分かってきました。青斑核などノルアドレナリンに関係した神経細胞も少なくなってしまいます。この青斑核などのノルアドレナリン作動性神経経路が障害することで睡眠障害や鬱などが出現するのではないかと考えられています。ドロキシドパは神経伝達物質ノルエピネフリンの前駆物質で、生体内で天然型のノルエピネフリンに変換され、不足したノルエピネフリンを補充し症状を改善する薬剤です。つまり、L-dopa が脳の中でドパミンになって少なくなったドパミンを増やすのと同じように、ドロキシドパは少なくなったノルアドレナリンを脳の中で増やす薬です。元々は、家族性アミロイドポリニューロパチーの起立性低血圧の治療として開発されたものですが、楢林先生がすくみ足の改善効果があると報告され[4]、1989 年にパーキンソン病治療薬として認可されました。脳の中でもドロキシドパはノルアドレナリンに変換しますが、末梢でも同様にノルアドレナリンとなります。ノルアドレナリンという物質は、末梢血管のα1 受容体に作用して、血圧を上昇する作用があります。実際、ドロキシドパという薬は、2000 年に「起立性低血圧を伴う血液透析患者におけるめまい・ふらつき・たちくらみ、倦怠感、脱力感の改善」の追加承認を得ています。使用する際には、脳に移行しにくいため、3 錠ではなく 6 錠や 9 錠使ってみて効果があるかどうか

を検討することが多い薬だと考えています。さらに、ドロキシドパは芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素(AADC)でノルアドレナリンに変換されます。末梢で変換されてしまうと脳内への移行が減少します。このAADCはドパ脱炭酸酵素阻害薬(DCI)で抑制されます。DCIは、現在L-dopa製剤では、L-dopa/DCI合剤として広く用いられています。したがって、メネシットやECドパールなどのL-dopa/DCI合剤と同時に服用しないと脳内へ十分移行しない可能性があります。残念ながら、有効性は３０％程度と考えられていますが、すくみ足が高度の場合に投与を試みることが推奨されています

EBM とオーダーメード治療

ブレインバンク

名古屋大学神経内科　**渡辺宏久**

1，はじめに

この連載では、パーキンソン病の運動機能以外の症状を中心として、最新の標準的治療基準をご紹介するとともに、これまでの治療経験を通じて試してみる価値があるかもしれないと思っている治療やリハビリテーションの方法などをご紹介してきました。

今回のテーマは、いつもと少し話題を変えてブレインバンクに関してご紹介をしたいと思います。尚、過去の連載タイトルをこれまで記載してきましたが、紙面１枚を超えるようになりましたので、以後、割愛させていただこうと思います。ご容赦下さい。

2，パーキンソン病研究における病理学的検討の位置づけ

パーキンソン病をはじめとした脳の病気、特に神経変性疾患では、肝臓や腎臓など身体の中に出来た病気とちがって、病変を一部摘出して調べる検査（バイオプシー）が出来ません。例えば胃癌か胃潰瘍かを鑑別するには、内視鏡で病変を見つけ、異常部位から組織を採取し、病理学的に調べれば良いのですが、パーキンソン病の確定診断をつけるために、脳のバイオプシーをすることは出来ません。

このためパーキンソン病の診断は、症状や画像所見からなされることになります。最近は、当方の研究テーマの一つである画像検査の進歩が著しく、臨床診断と病理診断（亡くなられてから解剖によってついた最終診断）の一致率は 90%以上になってきています。しかし、どうしても臨床的な診断が難しい症例があることも事実です。このように、病理診断は臨床レベルを向上させて、患者さんにより正確な診断と診断に基づいた治療を提供していく上で欠かせないものです。

病理学的な検討は、新しい病態の発見にも多大な貢献をしています。例えば、パーキンソン病ではふるえや動作緩慢などの運動機能異常が出現する 5-10 年前から黒質の変性が始まっていること、黒質の変性が始まるさらに前から腸管や嗅神経や心臓交感神経などに病変が出てきていることなどが示されています。また、精神症状や自律神経症状の病態を明らかにする上でも大変重要な役割を果たしてきました。実際、このような知見に基づいて、超早期診断と、病態抑止治療へ向けた研究が開始されています。

さらに、最近は、遺伝子解析技術、RNA の解析技術、タンパク質の解析技術などの進歩が著しく、病気で亡くなられた方々の病理組織を解析することで、さらなる病態解明と画期的な治療法開発につながる成果が出てくることが期待されています。

このように、医学の発展と新規治療法開発のために、剖検脳を詳細に多数例で検討することは極めて重要な位置をしめているのです。

3，生前同意とブレインバンク

神経変性疾患に罹患しておられる患者さんの中には、亡くなった後に自分の脳を同じ疾患に罹っている人々がよりよい医療を受けられるよう、医学の進歩に貢献したいと思っておられるにもかかわらず、どのようにしたら自分の意志を伝えたらよいか分からず悩んでおられる方もおられると伺っています。しかしながら、日本では、献脳、生前同意という尊いお気持ちを受け入れることが出来る体制が十分に整っていませんでした。

また、神経難病の原因究明と治療法の開発を目指す研究に提供することを前提として、人の死後脳組織を系統的に保存するための機関であるブレインバンクは、脳の病気を研究するためには欠かすことのできない機構ですが、残念ながら日本ではこのようなバンクはつい最近まで存在しませんでした。

このような献脳、生前同意、ブレインバンクなどを我が国でも整備することを目的に、国立精神・神経医療研究センターの久野貞子先生が中心となり、平成 18 年 4 月に研究班が立ち上げられました。現在は、有馬邦正班長の下に活動が行われており、名古屋大学神経内科と愛知医科大学加齢医科学研究所も当地区における本システム整備のために参加しています。

4，献脳生前同意登録ブレインバンクの概要（ホームページより）

神経疾患は，脳の中の神経細胞の働きかが異常になり発症します．医学の進歩の結果、病気の症状を改善し治療する各種の薬ができましたが，病気の根本的な治療法はまだありません．このような神経難病では，マウスなどの実験動物を使って病気のモデルを作り，治療法を開発する努力が続けられています．しかし，患者様の死後脳を試料として研究し，脳で起こっている異常を明らかにすることが、治療法を開発する上で必須です。たとえば、神経疾患の脳の黒質という場所でドパミンという情報伝達を担う物質が健常人と比べて少ないという発見が、L-Dopa という薬剤による治療法を導きました。

さて，ブレインバンク （Brain Bank，脳バンク）とは，患者様が不幸にして死亡された時に、死体解剖保存法という法律に従ってご遺族の同意を得て病理解剖します。この際，患者様の病気

を最終的に診断することへの同意に加えて，“診断後に残された脳などを長期に保存し，医学研究に使ってよい”という同意をご遺族から頂いています．ブレインバンクは，神経疾患や精神疾患の原因解明と治療法の開発を目指す研究に提供することを前提として、人の脳組織を系統的に保存しています．神経細胞の機能をになうタンパク質やその基となるRNA を保存することが必要ですので、死後脳を凍結して保存することが最も重要です。医学研究者から脳を医学研究に使いたいという 希望があった場合は，研究の意義や倫理的問題がないかどうかについて研究計画を公正に審査 した上で脳を提供しています．

ブレインバンクは脳の病気を研究するためには必須の機構ですが、日本では十分に組織化されていません．欧米では，“自分が死んだあとに自分の脳をブレインバンクに提供するので医学研究 に使って欲しい”という，生前からの献脳同意登録(ドナー登録)が広く実施されています。

私たちは 神経疾患、多発性硬化症、脊髄小脳変性症、ハンチントン舞踏病、筋萎縮性側索硬化症等の神経疾患を克服することを目標に，献脳生前同意登録制ブレインバンク(“神経疾患ブレインバンク”とよびます)を開設しました．これは，患者様とご遺族の双方に，神経疾患の研究を進める上では死後脳を用いた研究が重要であることおよびブレインバンクの活動を十分理解していただいた上で、死後にその脳をブレインバンクに“提供(寄託)”していただくことが重要であると考えるからです。

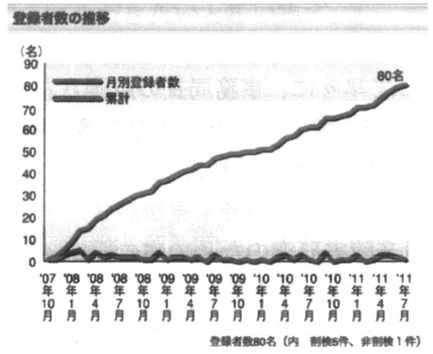
このブレインバンクは精神・神経疾患研究開発費により実施されます．この活動にご理解を頂き、ご賛同いただける場合は献脳生前同意登録(献脳ドナー登録)をしていただきますようお願いいたします。研究には比較のための病気でない脳も必要ですから、献脳ドナー登録は神経疾患を持っておられる患者様だけでなく，この病気でない広く一般の方にもお願いしています．なお，献脳ドナー登録は臓器移植のドナー登録とは異なりますのでご注意下さい。

神経疾患ブレインバンクは，献脳ドナー登録から病理解剖の実施，検体の保存，医学研究への提供のすべての段階で国立精神・神経医療研究センター倫理委員会の審査承認を得ており，適正に運営されているかどうか等についても倫理委員会の監督下にあります。

5，名古屋地区における動き

以上の流れを踏まえ、名古屋地区、愛知県地区でも、ブレインバンクの整備を進めています。まずは、本会の趣旨について、一度皆様にご説明出来る機会を作らせていただきたいと考えています。その際には、お時間の許す範囲でご参加いただけましたら幸いです。下の図では、ブレインバンクの組織図の概略と、登録数の推移をお示しします。

神経疾患ブレインバンク（国立精神・神経医療研究センター内）



7，第22回のまとめと第23回以降のお知らせ

いかがでしたでしょうか？ブレインバンクについて、少しでも関心をお持ちいただくことが出来ましたら幸いです。

本連載も、越澤さんや池田さんにご迷惑をかけつつ、何とか22回を重ね、連載開始後約4年になろうとしています。この間、様々な運動機能以外のテーマを取り上げましたが、それでも疲労、起立性低血圧、発汗障害、感覚障害、痛みなど、またご紹介していない重要なテーマが残っており、あらためてパーキンソン病という病気の奥深さ、我々が提供すべき情報の多さ、開発すべき治療対象の多さを実感しています。

このように多彩なパーキンソン病の問題に対応するための基本書の一つであるパーキンソン病治療ガイドラインが9年ぶりに改訂となりました。本ガイドラインの解説を是非とのご要望を、多くの患者さんやご家族からいただいております。そこで、これから数回はガイドラインの内容を説明し、”EBMとオーダーメード治療”のEBMにかかわる最新情報をご提供しようと思います。宜しくお願いします。

音楽療法士のひとりごと

中部学院大学　**鵜飼久美子**

９月に入って早々に、事務局長の越澤さんから、原稿の締め切りについてメールが届きました。本音を言いますと、まだ前号を書いたばかりのような気持ちです。それだけ時間の経過がはやく感じられますが、考えてみますと前号以降、

1. ナディックでの音楽療法が８月・９月と２回
2. 構音障害研究のための声の記録
3. ８月末の一日交遊会
4. 富山市で開催された日本音楽療法学会学術大会で、構音障害改善のトレーニングについての発表

等々、こんなにありました。時間が経っているのも納得です。

ところで、富山での学術大会の基調講演は、音楽療法学会の理事長でもあります日野原重明先生でした。
「音楽療法によるいのちの癒しとその療法の普及―１００歳の私が考えていること」というテーマでの講演でした。
富山県民も含めて2,000人をはるかに越したであろう聴衆を前に、簡単な原稿用紙１枚？を手にして、あと数日で満１００歳を迎えられるとは思えない程精力的に、広い舞台を狭く使いながら９０分間座ることもなく、お話されました。
肝心の講演内容は、音楽療法がどのような障害をもった人や様々な疾患の患者さん、特に癌やその他の難病の患者さんに対してどのようにターミナルケアが行われてきたか。また認知症や自閉症といった方々に対して提供される音楽療法の技術と音楽療法士の患者さんとの心理的、行動科学的コンサルタントの技やそれに携わるチーム医療のあり方など。
また、今回の震災では、被災された人々に音楽がいかに重要な役割を果たしているか、被災地に足を運ばれた経験からのお話でした。
特に印象に残っている言葉として、逆境を転じてそれをプラスに換えていくことの大切さ、これはご自身が学生の頃病気になり１年間の闘病生活を送った際に、母親がピアノを買ってくれたお陰で、今日自分が音楽に深く関わることが出来ている、ということでした。病気になっていなかったら、ピアノを弾くことがなかったかもしれないということです。
人間はその人生の中で、生老病死の四苦を経験するが、その中で、どう上手に生き、病み、老い、死ぬかについて音楽をどのように生かしていくか、その役割をお話されました。
時折、大きく両手を掲げながらユーモアを交えての講演は、とても１００歳とは思えません。素晴らしかったです。

秋も、どんどん進みます。そろそろ恒例になった年末のクリスマスコンサートの計画を立てています。今年のメインの歌は、「また君に恋してる」です。皆さん、少しロマンチックな気分で練習を始めました。ぜひ、お聞きいただきたいと思います。
コンサートの日程は、１２月１６日（金）午後の予定ですが、次号で詳細をお知らせ致します。

ナディック　音楽療法　予定

１０月１１日、１１月　８日、１２月１３日（いずれも第２火曜日）

時　間　：　午後２時15分～３時30分（休憩10分）
場　所　：　名大病院　広場ナディック（新中央診察棟２階）
問い合わせ・申し込み：　TELかFAX　いずれかにて下記まで
052－834－4150（鵜飼久美子）

パーキンソン病・医療講演会のお知らせ

日　　時　　平成 23 年１０月２２日(土)　午後１時～３時

場　　所　　豊田産業文化センター・大会議室

〒471-0034　豊田市小坂本町 1-25

℡０５６５－３３－１５３１

講　　師　　平山正昭医師　（名古屋大学医学部保健学科准教授）

演　　題　　パーキンソン病の病態と治療

日　　程　　１時　～　２時　　講演

２時　～　３時　　質疑応答　(何でも聞いてください)

問い合わせ　　友の会事務局　〒458-0847　緑区浦里 1-68-508

℡０５２－８９１－３４８２

◎　先生には年３回、県下を回ってご講演をお願いしています。これまでに、岡崎市、春日井市、一宮市、豊橋市、刈谷市、弥富市、半田市で行いました。次回は瀬戸市（１月２８日）を予定しています。

一泊旅行のご案内

皆さんお変わりございませんか。今年も一泊旅行が近づきました。大勢の方の参加をお待ちしております。平山先生もご出席して頂けます。広い海を眺めて上げ膳据え膳で楽しいひと時をすごしましょう。

担当：　益田　緑

・日　時　　平成 23 年 11 月 19・20 日（土・日）

・場　所　　ビラ・マリーン南知多

南知多町大字師崎字浅間山 16-3　　Tel　0569-63-1175

・参加費　　10,000 円（宿泊代）

・日　程　・19 日　受 付 15 時 00 分 ～（夕食まで遊湯ゾーンでお楽しみ下さい）

夕 食　17 時 30 分 ～18 時 30 分

懇談会 19 時 30 分 ～21 時 30 分

・20 日 朝 食　　7 時 30 分 ～ 8 時 30 分　チェックアウトは 10 時、

・送迎バス　　所要時間 25 分 （無料）

・19 日　名鉄河和線 河和駅 15 時 00 分発　ビラ・マリーン行き

・20 日　ビラ・マリーン　　9 時 45 分発　河和駅行き

・自家用車　　無料駐車場有

◎申し込み　下記宛にハガキ（Fax 可）でお申し込みください。

・宛先　　〒486-0907　春日井市黒鉾町大久手 137-5　　益田 緑

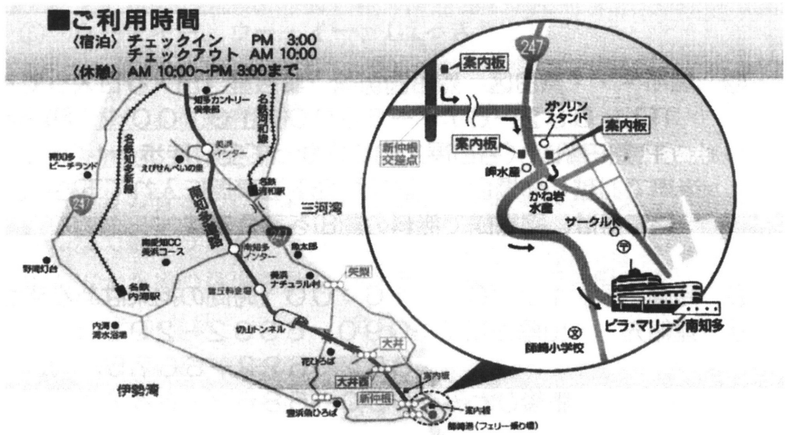
Tel・Fax　0568-33-5679

・記載事項　①参加者氏名 年齢 性別　②住所 電話番号 ③障害者手帳の有無

④車椅子の有無　⑤交通方法（送迎バス・自家用車）

・締め切り　10 月 20 日　　先着　40 名様

― 案内図 ―



手芸教室ひまわりの会 お知らせ

山尾佐知子

皆様、お元気にお過ごしでいらっしゃいますか？
今年は８月から９月にかけて大自然が大暴れした恐ろしい夏でしたね。そんな日々暑さに耐えていかがお過ごしでしたか。体調を悪くされた方も大勢いらっしゃることでしょう。私もその内の一人です。
辛かったですね。やっと朝夕は涼しく、しのぎやすくなって参りました。辛いのを忘れてひまわりの会で楽しいひとときを過ごしましょう。

毎月第３木曜日、１３時３０分～１６時まで
（１３時～１３時３０分に集合）

１０月２０日（木）　１３時３０分～１６時まで
ビーズを使ってネックレスや色々

１１月１７日（木）　熱田図書館が休館のため、お休み。
１２月１５日（木）　予定（１０月に入らないと予約できないので）

◎　場所・・・熱田区　熱田図書館　集会室（出入り口入ってすぐ左）
TEL　０５２－６７１－６６００（１０：００～　月曜休み）
JR 熱田駅前（名古屋方向に向かって左　徒歩１１０m）
※車でお越しの場合は、区役所地下駐車場に入れて下さい。
駐車券は、図書館で無料の認印を貰えます。

◎　時間・・・１３：００～１６：００（時間の拘束はありません）
◎　連絡先・・山尾佐知子：０９０－６３６２－２０８３
０５２－６２２－８６７５
肥後ひとみ：０９０－５８６３－６４７４

夏の一日交遊会を終えて

山本　芳夫

今年の夏は梅雨明けが早く夏本番に入り《猛暑》《酷暑》の日が続き、全国的にも熱中症にかかる人が多く、皆様も体調の管理・維持には十分に気をつけて対応策を考えてみえることと思います。まだまだ残暑厳しい８月２６日(金)に、名古屋市北区の生涯学習センターで『一日交遊会』を開催いたしました。

体調をくずしやすい時期ではありますが、新しい方を含め３２名のご参加をいただき、病気をも、暑さをも、乗り越えようと、午前の「音楽療法」、午後の「リハビリ体操」のレッスンに励み、ゲームに夢中になり、楽しく有意義な一日を過ごすことが出来たと思います。

◎　一日交遊会のプログラム
午前　　鵜飼久美子先生と鈴木千春先生による「音楽療法」
午後　　埜口義弘先生による「リハビリ体操」と「ゲーム」
幹事　　森　久子、山本　芳夫、山本　妙子

音楽療法　（１０：３０　～　１２：００）
パーキンソン病の方は声がだんだん小さくなっていく方が多いそうです。声を出すことは、とても良いことです。歌は高音あり、低音あり、幅がありで声のトレーニングにうってつけだそうです。

１．　声を出すための準備運動
①　顔をマッサージする　　②　口を大きく開ける
③　顔を膨らませ（右）(左)と空気を移動させる
④　口をすぼめて息を吐き出し、鼻から吸い込む（腹式呼吸をする）
⑤　ウー・イー、ウー・イー、（はっきりと）
⑥　パッ、タッ、カッ　（一気に）

<u>LSVT 法による発声練習</u>
大きな声で、出来る限り長く「アーーー」３０秒目標（これを一日１５回）
（今日の皆さんは、おおよそ２５秒で息切れ、今少し頑張って）

２．　みんなで歌をうたう
声を出すための準備運動を十分行った後、皆で合唱する。
①　まっかな秋　・・・　全員で合唱
②　早口言葉で、お口の運動

キク	クリ	キク	クリ	ミ	キク	クリ
菊	栗	菊	栗	三	菊	栗

③　赤とんぼ　　・・・　全員で合唱
④　しゃぼん玉とんだ　　全員で合唱・発声と運動を同時に
・　膝を手で打ってリズムをとる
・　歌いながら膝でリズムを取り、両手を打って手を肩に置く
⑤　汽車　　・・・　トーンチャイムを使っての演奏
⑥　お酒に関わる歌４曲を全員で合唱
⑦　最後にATMの歌を歌う

リハビリ体操　（１３：３０分　～　１５：００）

昼食後、リハビリ体操が始まる前に、参加者から困りごとの相談がありましたので、代表的なものを記します。

①　すくみ足　　最初の一歩が出にくい、または歩行中に足が出なくなる
対策・・・背中を伸ばす　　踵がある履物を履く
②　突進型・・歩いてうちに歩幅が狭くなり、早足になって転ぶ
対策・・・歩く時、先に踵をつける、アキレス腱を伸ばす体操をする

１．　指の運動　　手の震えに対して有効です
・　両手を前に出し、指を折って指先が指の元に付くか？
（付かない人は衣服のボタンがとめづらくなる）

２．　足の運動　　転倒を防止する筋肉をつける体操
・　椅子に坐ったままで足を交互に上げ、下げする
（歩いても付かない筋肉の運動）
・　椅子の横に立ち、右手で椅子を掴み、右足で立つ
右膝を少し曲げる、そして膝を伸ばし、爪先立ちになり、戻す、ついで左足を行う
（この体操は歩いていても筋力が付かない部分の強化です）

３．　ひねりの運動　　寝返り、起き上がりに必要な運動です。
椅子に座り、椅子の左肘置きを右手で掴んで首を右にまわす。
次にその反対動作を行う。

４．　風船バレーボール　　６チームに別れ、１チーム２試合は出来るように時間を延ばして楽しみました。

３人の先生方のアイデアを織り込んだレッスン、ユーモアある話術に勇気づけられました。皆さんのお顔や笑い声を見たり聞いたりしていると病気なんかに負けないぞといっているように思いました。
今回、参加できなかった方も次回ぜひ遊びにお出かけ下さい。お待ちいたしております。

当会報でおなじみの京田辺市の鎌田清美様からご著書(５５冊)をいただきました。ご希望の方はお申し出ください。読後感を〒610-0331　京田辺市田辺南里 38-15 鎌田清美様あてお送りください。題名となった小五の鎌田美咲さんの詩をご紹介します。(越澤)

かなしみの青いクレヨン　　かまたきよみ著

しあわせのいろって　　どんないろ
まず　　さいしょ　　子供の　　描く絵
赤いおひさまのいろ
ももいろは　　花のいろ
春はさくら　　秋のコスモス
花といっしょ　　風にゆれるみどりの葉
そして黄色　　おへやにつく　　でんきのいろ
明るい　　ひかり　　そのしたで
みんな　　笑った。　　死んだ　　兄さんも
声をあげて　　笑っていた
兄さんの　　わかい顔　　ひやけして
はだいろと　　ちゃいろで　　おっと
うまくかこうね。　　こいまゆもキリリとくろで
はいいろで　　いきいきと　　していたもの
それは　　父さんの　　こうじょうのエントツ
まっすぐ青空に　　たっていた
あおい空は　　水色　　ながれる雲は　　白く
みんなみんな　　もう消えて　　のこされた
一本の　　青いクレヨン
ホラ　　かなしみの涙をえがく　　青いクレヨン

読後感

春日井市　**益田　緑**

こんにちは

愛知県パーキンソン病友の会の益田緑と申します。

ご著書「かなしみの青いクレヨン」を頂きました。ありがとうございました。読み始めるとすぐに引き込まれてしまいました。そしてあの頃のことを、着ていた服の色や履いていたわら草履の感触つきで思い出しました。私の育った村は農家がほとんどで社長さんはいませんでしたが、まわりにちょうど美咲ちゃんと同じような子供が何人かいました。

親達の立ち話にも、あそこの人は下の子ばかり可愛がって上の子は継子だからかまってもらえんのやとか、お昼ご飯の時間は外で遊んでいたとか、夕べ外に出されて泣いていた、などと大人の話によく出てきました。お父さんが戦争で亡くなって、お母さんがその弟さんと結婚し、おじさんにあたる人が、新しいお父さんになった子もいました。又時々白い着物を着て兵隊さんの帽子をかぶった腕のない人とかが回ってきました。小さい頃そんな話を聞くと継母って怖い人ばかりと思っていたことなど、色々思い出します。子ども達の心の中がよくわかって切なくなります。そして、ひとつふたつ年の違っただけのその子達になんにもかかわらなかった自分を思い出すと情けなくなります。私は人見知りが強くて、自分からはなかなか友達の輪に入れずにいた子供の頃を悔やむような気分です。今だったら優しくできたのになんていっても引っ込みの性格は変わりません。同じ病で寂しそうにしている人に声をかけるのにもためらうような時もあります。パーキンソン病になった身体をもてあますこの頃で、薬が効いている間しか本が読めなくなりましたが心にしみいる本となりました。ありがとうございました。

厄介な病気

あま市　**伊藤フサ子**

遠くで声がする「伊藤さん、伊藤さん、終わりましたよ」　声がだんだん近くなる。「フサ子、フサ子、私わかる？順子だよ」　あーお姉ちゃんの声だなー。私が気がついたのは、病院の集中治療室（ICU）のベッドの上でした。「伊藤さん、足を動かして、手も動かして」先生の声だわ、足も手も動く。何処も痛くない。

平成２２年４月２日から１０月２日まで、６ヵ月間、パーキンソン病に伴う変性側弯症の手術をしていただくための入院でした。右側３９°傾き、背中は丸くなって痛みも少しありました。街を歩いても、電車に乗っても、スーパーに出かけても、皆が振り返って見るような気がしました。幼い子でも母親の手を離して立ち止まって私を見ていく。「どうしたの？」と尋ねると急いで親の元へ帰る。そんな場面がなんどかあった。被害妄想だろうか？　パーキンソン病とわかってから、７，８年で右側へ傾き始めたので、大きな病院の整形外科や、専門医院を３ヵ所受診してみた。いづれも「老化現象ですね」で終わりでした。

人生これで終わりかな？　後は寝たきりになるのかな？　考えは悪いほうへと進み、こんな姿を友達や知り合いに見られたくないと思うようになっていく自分に気がついて、なんとかしなければ、焦る毎日でした。それでも友の会のイベントには、何の抵抗もなく参加できました。このころの一番の楽しみでした。でも、体はだんだん曲がってくるし、痛いというより重苦しい感じがして、自分の体だから自分でなんとかしなくてはと思うようになりました。いろいろ調べたり、聞いたりしました。幸い私の話を聞いてくださるところが見つかりました。そこで紹介していただいたのが名城病院の川上先生でした。

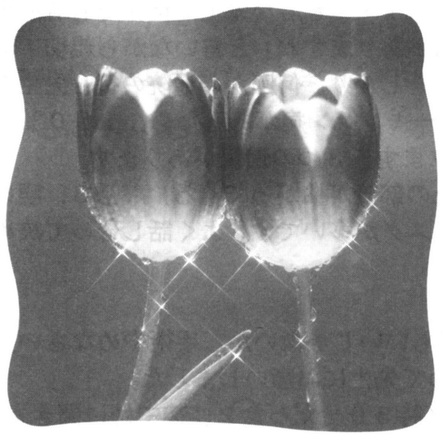
平成２１年８月でした。川上先生は側弯症では・・・有名な先生で世界でも名前が知られているそうです。その先生が「厄介な病気がありますね」と言いながら親切丁寧に診てくださった。でも、写真を撮ったり、検査をしたり、何回かの通院の後、先生の答えは厳しいものだった。「手術は可能ですがパーキンソン病があるため、１００％とはいきません。病気がなければ、きれいになおります。３つの選択があります。
１．そのまま　　２．腰だけ（後から腰の上の部分が曲がってくる）　　３．腰をした後、背骨を真直ぐにする。２回手術する。リスクが多いです。よく話し合って決めてください」と言われた。

考えました。話し合いました。「曲がってもいいじゃないか、手術やめなさい」と言ってくださる友達もいましたが、№３に決めて先生にお願いしました。
午前９時に手術室に入り終わったのが午後８時３０分だったと、後で姉に聞きました。「大変な手術でしたよ、よく頑張りましたね」と先生にいわれたけど、私は麻酔からさめるまで痛くも痒くもなかった。手術に立ち会ってくださった先生方の疲労の方が大変と思い、感謝、感謝で涙が溢れたのを覚えている。

１回目の手術から４１日、２回目の手術が行われた。時間は１回目と同じくらいだった。後はリハビリと養生だけ。起き上がり、立つ、坐る、歩く、のリハビリです。１つ１つが初めてのことばかり、出来たときの嬉しさは、今までに経験したことのない喜びでした。ベッドに坐れるようになって、体が少し右に傾くのに気がついた。「ああ、先生が１００％ではないとおっしゃったのはこのことなのだ」とわかりました。

退院して、以前着れなかった服やパンツ・コートを見て、また、これを着て歩ける嬉しい！（年はとっても女でした。フフフ・・・）今、私が苦労しているのは、車の乗り降りに時間がかかること、皆さんにご迷惑をかけている。退院して３ヵ月目、転んでしまい顔面と右手に怪我してしまった。川上先生から転ばないようにと言われていたのに、くやしくて、くやしくて、転んでから腰が足にかけて重たいのです。足、腰は重たくても背中がまっすぐは嬉しいです。川上先生、ありがとう。

私は手術していただいて本当によかったと思っています。パーキンソン病は、厄介な病です。「重き荷を背負って行くが如し」になってしまったけど、くよくよしても明日は来る。ATM でいきます。他の先生がおっしゃった「我々の仲間ではパーキンソン病には手を出すなと言われている」と話されたのが心に残っている。



患者さんのために
信頼と愛が
いっぱいつまった

藤本製薬グループ
エフピー
株式会社

〔お問い合せ先〕
〒580-0011 大阪府松原市西大塚1丁目3番40号
TEL:0120-545-427 FAX:0120-728-093
URL:http://www.fp-pharm.co.jp

平成22年1月作成

なぜ、絵を描くのか？

南区　山田良知

人は物を作ったり、ペンを持つと何かをドローイングする。太古の昔からその様子は変わりがない。岡本太郎氏が言っていた「芸術は爆発だ」といった言葉にしても、それはそれとしてある種のインパクトを私達に与えてしまう。見えないものを見えるように描くのが、これすなわち芸術なのか　・・・・、混沌としている。

何を頼りにして私達は創作活動をするのか？　明らかにさせていきたいものです。物を見て表現するのは簡単な事である。
そこにいかなる哲学を持ち込むかは、表現しようとする作り手の一手段である。
○△□から芸術的な作品として物作りをする人もいるかもしれない。そこにはあらゆる可能性を含んでいる。そこに色、形が加わることでさらに奥行きが深まってくる。

何も絵を描かなくても私達は生きてゆける。無いよりは有った方が良い。心地好い、没頭できる、生き甲斐が出る、趣味として最高である、などなどである。
テーマにした「なぜ、絵を描くのか？」は、未だに分からない。今後も分からないまま突き進んでいくであろう、今日もまた分からないままスケッチブック持ってあっちこっちを彷徨うのである。

治療法の無いのがパーキンソン病と言われている。この方法が判らずに病と戦っているのは、あながち何なんだろう。

難病と戦っている多くの仲間達よ、
焦らず、自己に対して前向きに難解な病に立ち向かおう！

10 日前に２階の階段から落ち、尾てい骨を打って歩行が不自由になりました。毎日家におらず、外出して多くの友人と語らうことが大切である。そんな事をあれこれ考えているこの頃です。

カラオケと私

岩倉市　**増田民子**

私とカラオケとのお付き合いが始まったきっかけを書いてみます。脊柱管狭窄症の手術を受けてヤレヤレと思う間もなく、パーキンソン病であることが分かりました。それからの私の苦痛は大変でした。
今までに何度も触れておりますが、よくぞ立ち直ったと思います。この大変な時にカラオケに巡り合いました。

幸い家の近くに市が経営していた「老人・憩いの家」がありました。今は「ゆうわ会」となって老人会が行なっています。老人のために講座がたくさんあります。歌は歌うことはしなかったのですが、聴く事はいろいろ聴いて好きでした。
とにかく前に出なければ・・・・・と思い、意を決して一人で練習の見学に行きました。行ってみたら私が懇意にしている市会議員の方とか、顔見知りの方がチラホラいらっしゃいました。

一ヶ月に 4 回、課題曲を決め（新曲）皆で歌います。「ひばり会」と名前がついています。そこで声を出して皆さんと一緒に歌っているうちに、だんだん気分が落ち着いて楽しくなりました。
そうこうしているうちに、他から「カラオケ同好会」を立ち上げるから入らないかとのお誘いを受けました。これは「ひばり会」とは別です。

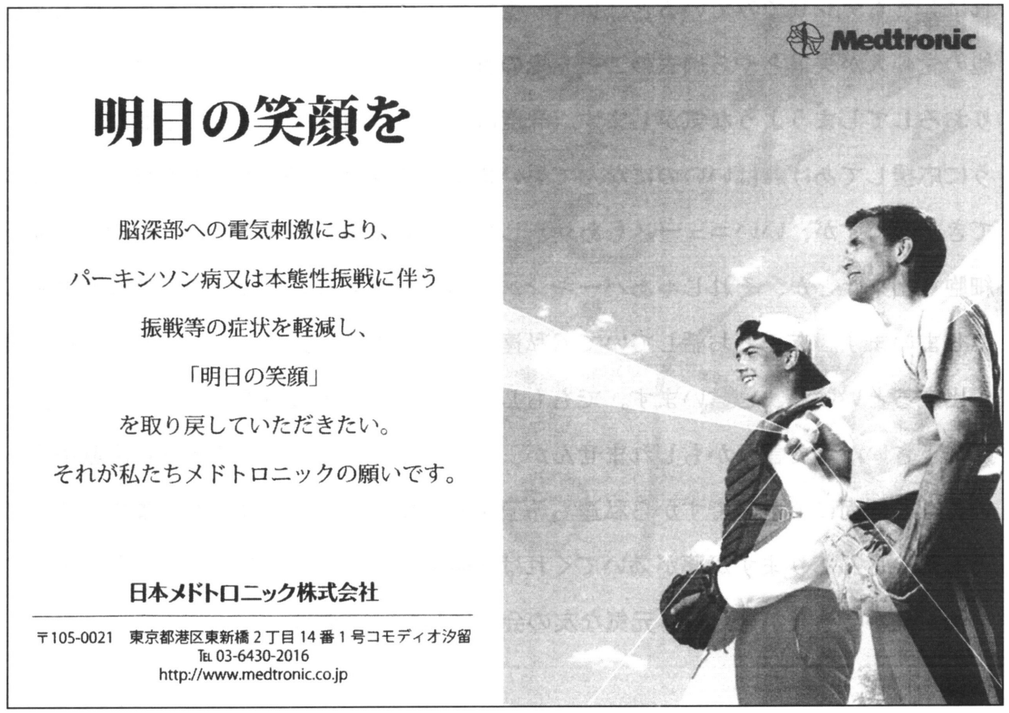
入ってみたら、これは上手な方ばかりでした。大会入賞者を筆頭に、上手な方達の軍団です。私はもともと気分をほぐす為に歌いだしたのであって、一生懸命にカラオケに打ち込む気はありません。新曲を追い求める気もありません。だから歌は下手です。上手な方が気の毒に思われたのか、“これは歌い易いからどうかな・・・・・”と譜面とテープを下さいました。

またリーダー格の男性会員の方は、“これは貴女の声に合っているし、歌い易いからどうか”と言って差し出されましたが、新曲新曲といって進んで行くのも気が疲れますので、それとなくお断りしました。
こんな私でも、仲間の一員として暖かく見守って下さる皆様に感謝しております。
カラオケ同好会の発表会は年 4 回あります。一番から三番まで 3 曲歌います。
定員は 20 名です。9 月 3 日が台風で流れたので、代わりに 9 月 22 日に行なわれます。

この発表会に選んだ私の曲。一曲目は「風と立つ」・坂本冬実、二曲目は「人生みちずれ」・天童よしみ、三曲目はこれは新曲で「桜の如く」・坂本冬実です。
「風と立つ」と「桜の如く」は、かなり難しいです。人は、“なぜあなたは難しい歌ばかり選ぶの　・・・・・”と不思議がります。また或る人は、“貴女は幸せな人だな・・・・といつも思っているのに、なぜ厳しい歌ばかり歌うの？　以前苦労したの？“

いえいえ、以前は幸いでした。でも私は人生の厳しさを織り込んだ歌が好きです。それと山場で出来るだけ大きな声を出す曲を選ぶようにしています。声のリハビリのために。でも人前で歌うとなると、練習に大分時間をとられます。結構忙しいです。
下手でも恐れる事なかれ　・・・、自分のために歌うのだから。カラオケと出会ったことで人生の楽しみが増えました。これも病気がくれた副産物かな。

「ひばり会」の方も年 4 回発表会がありますが、なにぶん会員が多いので一曲歌うだけだから楽です。下手でも、人が何と言おうと我が道を行きます。
（但し、常識的に許される範囲の話です）



今度はどじょう首相さん

春日井市　　**益田　緑**

テレビを見ていたら、党首選挙の演説をやっていたので動けるようになるまでと座りました。そのうち大河ドラマの信長を思わせるような人は前原さんかな、家康は神野さんで、野田さんは秀吉みたいなんて思えてきてなかなか面白いのです。それにしても私は金魚にはなれません、どじょうになります。と始まった挨拶はぺらぺらと雄弁な挨拶よりきらりと光ったように感じたのは、私だけではなかったようです。でも其の後にまだ一枚上手な方がいました。首相がどじょうなら自分は其の泥になりましょうという人がいたのです。この人は三成みたいねなんて思いました。東で西でと大きな災害が起きています。この病気も何で私が・・・と、思いますが災害の起こった所の人達もなんでこんな事がと悔しい事でしょう。政界も新しい役者が揃ったのですからこれからの災害復興が速やかに進むといいのですが、長引くと弱い人が力尽きてしまうように思えます。もし私だったらどうしたらいいのかしらと心配になります。それにしてもテレビでみていると、折角一生懸命に行政をやろうと出て下さった人達を他の党の人が失言とやら過去のことを鬼の首を取ったみたいにしつこく攻めて引きずりおろしてしまうような気がします。今度はどじょう内閣がじっくりと取り組めるように応援してあげればいいのになんて思います。最近テレビの番をする時が長くなってきたのですが、いいニュースもありました。iPS 細胞が出来たというのです。神経細胞も出来たとか、それじゃあパーキンソン病にも使えるようになるのではと期待してしまいます。友達とお話していても私達は一番にその実験台になってもいいから早く出来るといいね、と言います。でももし其の時になったら怖くなってもう少し後にして下さいなんて言うかもしれませんが、それにしてもこんなに細胞やら治療法やらのことが紙面にでるのですから私達も希望を持ってもいいのではと思います。辛いこともたくさんありますが薬が効いてくれば一時でもいい時があるのは幸せなことです。いつか病が治る日がきたら「元気な友の会」にしたいですね。

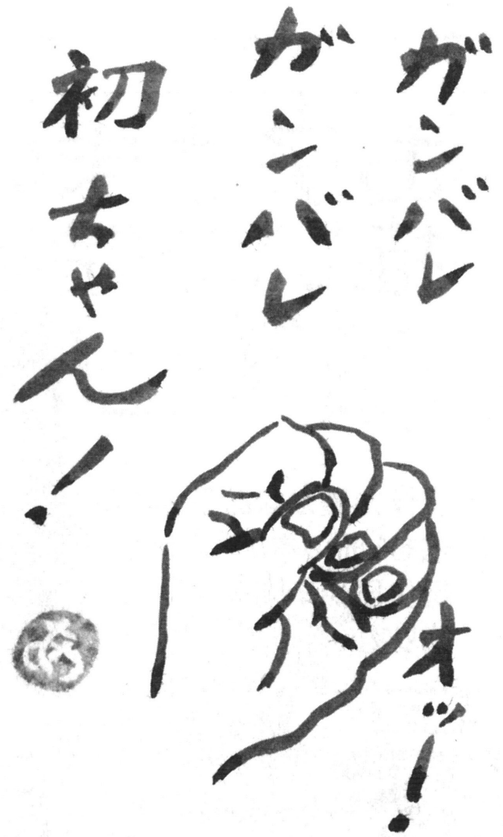
杉山さんが癌になった

岡崎市　　**浅井志津子**

会報５６号の「がんばり屋さん」として紹介された杉山初江さんに、またまた大きな闘争相手が増えました。頬の横に癌がくっついてきました。リンパにつながる大変なものようです。手術の前に抗がん剤で抑えてから、とかで、抗がん剤をうったり、放射線で焼いたりと、三ヶ月の入院予定で闘うとのことです。
皆を元気付け、自分も頑張っているのに、まだ、何が足りないというのでしょうか。神様も残酷なことをするものだ。
それでも負けずに、先日電話で「この苦しみを本に書きたいから、カットをお願いしたい」と言われた。すばらしい心意気だと思いました。何年かかっても、ぜひ、その意気込みを成し遂げて欲しい。私もできる限りの手伝いをさせてもらうから。

これから苦しい闘いがはじまると予想される、いや、もう始まっていることかも知れません。その前向きな姿勢に拍手喝采です。いつか笑って、この時の話が出来ることを念じています。

「がんばって！初ちゃん。」
やっぱり杉山初江さんは頑張り屋さんで、なおかつ、前向きな考えのできる人だと、改めて実感しました。
この話を会報に載せて良いか、どうか、お見舞い方々聞きに行くと、またまた、ビックリする話が出ました。この入院中に心筋梗塞になり、カテーテルをしたとのことで腕に青あざが出来ていました。「これも心臓が悪いかどうか調べる良いチャンスをくれた、と思っている。」と軽く話されたが、大変なことだと思う。何が起ころうとも、いろんな方法で現実を見つめ闘っていく生き方に私は感動しました。
会報に載せても良いという返事をいただき、ぜひ皆さんの応援をいただいて杉山さんの全快を願いたいと思います。



服部神経内科　本町クリニック

〒460-0008　名古屋市中区栄　3 丁目 20-29
院長　服部達哉　　副院長　服部優子

診療時間

時間 ＼ 曜日	月	火	水	木	金	土	日
午前 9：30 ～ 12：30	○	○	○	／	○	○	／
午後 3：00 ～ 6：30	○	○	○	／	○	／	／

この他に祭日は休診とします

電話　０５２－２４９－０１０１

お子さまの描いた絵を絵本に!

想像力豊かなお子さまの
絵を1冊の本にしませんか。
誕生日や卒園等の
贈り物にどうぞ。

1冊から作れます

一粒書房　検索

有限会社 一粒社 ICHIRYUSHA　出版部
〒475-0837 半田市有楽町7-148-1　FAX0569-22-3744
TEL0569-21-2130

訪問マッサージのご案内

・パーキンソン病にあった体操・ストレッチ・マッサージを行います。

・医療保険適用の為、かかりつけの医師の同意書が必要です、詳しくはお問い合わせください。

弊社は一般社団法人全国パーキンソン病友の会
愛知県支部様より感謝状を頂いております

㈲メディカル在宅マッサージセンター
フリーダイヤル　0120-194004
名古屋市中村区畑江通 8-18-1　UV 岩塚ビル

増田民子さんは早くにご主人を亡くされ、今日までの 14 年はお嬢さんと三人で頑張ってこられました。

その間にパーキンソン病を発症し、次いで脊柱管狭窄症で手術と連続して苦難にあったものの、持ち前の明るさで見事に乗越えています。

苦難を克服した増田さんの生き様を語って貰いました。

増田民子さんに初めてお目にかかったのは、名大付属病院ナディックで開催される音楽療法（鵜飼久美子先生主催）の席でした。4 年前ですから、パーキンソン病歴５年目でした。
ハスキーボイスで、これが病人かと疑うような開けっぴろげで話され、何も屈託が無いといった感じです。パーキンソンを思わせない雰囲気に驚いたのを覚えています。この印象は今でも変りませんが、私がお目にかかったのは苦難を乗越えた後の増田民子さんでした。

～グランドキャニオンで～

会員の方々にも、一言も愚痴らずに病と向き合っておられる方が多くおられます。今回の「がんばり屋さん」には、我慢することに加えて更に行動することで病に立ち向かう「増田民子さん」に登場して頂きました。その行動の広範さにご注目下さい。

１、お嬢さん達の力で苦難を克服

平成 8 年、57 才の時にご主人を亡くされました。病名は「下咽頭ガン」ということで、入院して僅か 4 ヶ月後のことです。思いもよらぬ突然の別れに、何が何だかわからないまま、気がついたら 3 人だけになっていたと仰っています。

平成 14 年頃（63 才）になると、箸が持てない・歯磨きができない・字が書けない・足の感覚が無いなどの症状に悩まされました。医師も分からないと言うので、おかしいなと思いながらも、そのまま毎日の生活に追われていました。
平成 17 年春に、腰が痛くて立つことも歩く事も出来なくなりました。我慢できずに、

病院で診察をうけると、「脊柱管狭窄症」の診断が出たのです。意を決して手術を受け、やっと腰の痛みからは解放されました。今でもMRＩ検査で異常は認められません。痛いなと思っても、痛みはすぐ消えてしまうそうです。

しかしこの時に、増田さんの手の動きや歩く姿勢を不審に思われた先生が神経内科を紹介され、3 年に及んで分からなかった体の不調の正体が、「パーキンソン病」であるとやっと分かったのです。

～ひばり会で熱唱～

苦難を乗越えることができたのには増田さんの頑張りと共に、最大の力は“こころ優しく育ったお二人のお嬢さんのおかげ”と今でも感謝されています。

２、毎日を楽しく、カラオケを生き甲斐！

傷心の毎日の中で心の安らぎを与えてくれたのが、口ずさんでいた歌だったと言われます。
「カラオケ教室・ひばり会」や「カラオケ同好会」に入会し、歌う仲間と交わることでどんどん活力が生まれてきたようです。

併せて健康の大切さを痛感し、市の「体操クラブ」にも入って体力の維持に努めておられます。

～体操クラブの皆さんと～

３、行事に積極参加、交わりを大切に！

もう一つの特筆すべきことは、「あらゆる行事に進んで参加」すること。
講演会では、玄侑宗久氏・鳥越俊太郎氏・大江健三郎氏・鈴木健二氏・星野仙一氏、なかでも大相撲の蔵間関は１ヵ月後に病死されたので、強烈な印象として今でも光景が目に浮かんで来るそうです。

講演会の他には、音楽療法や友の会行事は言うに及ばず、岩倉市主催の生涯学習塾や音楽鑑賞会・パン作り講習会・整膚入門講座・ストレス対処法講習会・市民ふれあい祭り参加などなど、東奔西走の毎日です。

終わりに：当 59 号に増田民子さんの「カラオケと私」が載っています。治療はお医者さんにお願いして、後は自分の力でいかに進行を遅らせることが出来るか。この答が増田さんの生き様の中にもあるのではないでしょうか？

（文・池田）

思い出の名古屋-その二

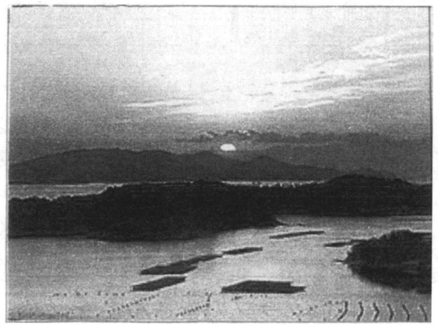
お願い：終わりに関係先の消息をお尋ねしますので、ご存知の方はお知らせ下さい。

「名古屋の女は暖かい！」

京田辺市　かまた　きよみ

父の為には何がラッキーと言って、これ以上の幸運はなかった。オブラートの東京本社は世田谷区の三宿にある。創始者・山下太郎氏の協力者白石元治郎氏が此処を開いた時、周囲一面大根畑だったとの事。会社の名前は二人の名前から一字ずつとって「山元オブラート」という名が生まれた。
父は自分が社長になってから、ずっと、この二名の方の名をあげて「えらい方だった」と偲んでいた。父が工員から出世して工場長になり、その後伊勢地域に新工場設営に乗り出した時は、重役の座には太郎氏は居ずに「満州太郎」と呼ばれて華やかに新天地の満州で大活躍していた。

父がオブラート工場に職を得たのは、どうやら父の姉(私からは叔母になる)の力によるものらしい。親類の集まりではよくこの話題が出ていた。そしてこの時、オブラート工場でオブラート発明後その工業化に協力したのが父だった。
父は明治半ばすぎに母一人姉三人の五人家族で仙台から上京したが，父は真面目な研究心を持った明治の一少年だった。
そのどこに目を付けたのか私には解らないが、「山下太郎は学歴など問題にもしなかった！・・・、と言う事は「アラビア太郎」(集英社文庫)という本にも載っている。



英虞湾に沈む夕日

私が東京に出て行ったのは 1951 年(昭和 26 年)の事だから、まだまだオブラート工場の現場にも戦前の古い工員さんらも残っていて、その人たちは「太郎さんが可愛がっていた二郎さん」の話をよくしてくれた。一つには、本当の母を早く亡くし、今は父親と二人で住んでいる私を気の毒に思っての事であったのかもしれない。

現代のオブラート製造工程も、そのころと同じと聞いている。父は、伊勢の方に新しい工場を作る為に行ったのだが、花やら木をあつめるのに熱中していた。
新築の工場を取り囲む雑種の木々が、やがて三年、五年と経つとそれぞれ花をつけ、川の堤防に近い所にあるオブラート工場は花の名所となった。
花見の客が訪れるという噂も流れて、志摩半島から観に来る人がいた。その一人が「船」を持ち、“川を下って海まで行こう・・・”と言う事になり、母の家では兄も姉たちも行きたくないというので、私だけが行く事になった。青い海・・・、そして
青空を流れる白い雲・・・。

子供の時の思い出を話しだしたらキリがないですね。船に初めて乗ったのに酔わなかったか・・・？　いえ、酔いません。何しろ波もキラキラ、私の心もキラキラ。
船の行く先は、鳥羽とか伊勢志摩の島、鯛の大きな生簀を見たり、楽しかったですね。
その船主の山村さんと父は良い友達同士になって、一時期は隣同志どこに行くのも皆一緒で、近衛兵出身のキリリとしてハンサムな山村さんは何をさせても格好良く、もてたそうです。

父と二人で名古屋に行くのは芸能鑑賞なんて言って出かけていますが、実際は借金のパトロン探し。中小企業の金策はそのころも厳しかったのです。
伊勢に全く血縁のない父にとって、志摩と言う地方勢力の一員である山村さんの協力というものは大きかったでしょう。
父が何故伊勢に行ったのか？　これもまた、オブラート発明前に時をさかのぼらないといけない。オブラートの発明者は確かに山下太郎で、最初は「食用紙」と名付けて新発明の登録をするつもりが、いざ申請書を出そうとすると先人のいる事が分かった。その人は伊勢の人で名前は小林という小児科医である・・・。

その人と結びつきを持ってオブラート工場の話を進めよう・・・という企画で始まったのだが、小林さんの特許は 10 年以上も前のものであって、現地に行って調べると工場建設の時にはもう逝去されていたというので話にならない。
本社には報告出来ないまま、ついに工場は完成。やむなく伊勢で人を集めて、仕事を始めるという大変なスタートとなった。この建設費、人件費はどこから出るかというと本社と同格の株式会社にして、出資者を募るということになる。

興正寺

山門

収益が出るのは、投資してから一年後である。こんな馬鹿な話、誰が乗るのかしら・・と思う。オブラートという何やら外国的な品物の名前と将来性の約束された「山下太郎」の会社ではないか・・・という理由で、名古屋を中心とする女性の投資家たちがバックアップしてくれる事になった。
この時代、経済力のある女性投資家(例えば、あの覚王山の旅館の女将もその一人)がすでにいたという父の話である。私を連れて行ったのはお涙ちょうだいの為で、本当にお前は親孝行だ・・と褒められたけれど・・・。一体、私は借金とどういう関係があるのかな？　レビューを見ると言う案も彼女たちから出たものらしい。

私はかように幼稚園時代を過ごしているのだが、戦争の方はどうなっているかと見ると、翼賛政治会が発足したと思うとたちまち企業管理法の公布、重要物質の強制買い上げ断行、高級娯楽場・料理店の強制閉鎖。これらは父と山村さんには大ショック

を与えたが、ここは父の持つ東北出身者たちの繋がりを利用して、切りぬけられた。やがては決戦非常処置要綱国民総決起運動が繰り広げられ、神風特攻隊が出発する頃には日本本土への空襲が始まっていた。

私達片平二郎の家族は、全員家族疎開で伊勢に集結した。なんといってもお伊勢さんのひざ元の方が東京より心強かったのである。私も小学生なので大人しく母親のもとにいるようになった。
家族より一足早く東京に踏み出した私は、この無鉄砲な行動のおかげで山下太郎氏とお会いできた。たまたま学校から帰った私が留守番をしている時に、父をたずねてこられた。「父ならあそこにいます」と私のさした指の先に、父が庭の草取りをしている姿があった、というだけの話である。

太郎さんと父・二郎の再会はかなりドラマチックなものであった。こちらに背を向け草を抜いている父の背中に、「・・・」と一声太郎氏が呼び掛けると、立ち上がった父は一瞬直立不動になり、その身体にしがみついた太郎氏は明らかに泣いていた。
この時父は 55 歳、此の二人を「面白いなあ」と眺めている私・・・15 歳。二人は何か一生懸命に話し合っている。遠いので声は聞こえない。そのうち、二人は事務所の中に入った。そこから先は、私は学習塾に出かけたので知らない。

お願い：何故こんなことを長々と書いているかというと、今の私の手元に 1998 年 1 月 1 日付けの古い年賀状があります。差出人は；

「名古屋市西区新道一丁目 26 番 14 号
山元オブラート名古屋支店　　友田建治・喜代子」

とあります。その後、葬儀があったとは聞いていますが、具体的な事は何一つ解りません。どなたかご存知の方にお尋ねしますが、なんでもいいですから近況をご存知の方は教えてください。此の支店は戦後 50 年、この場所でずっと営業していました。薬局、菓子業者の方がよくご存じではないかと思いますが、下記宛にご連絡いただけないでしょうか？　よろしくお願いします。

2011 年 8 月 11 日　　かまた　きよみ

〈連絡先〉

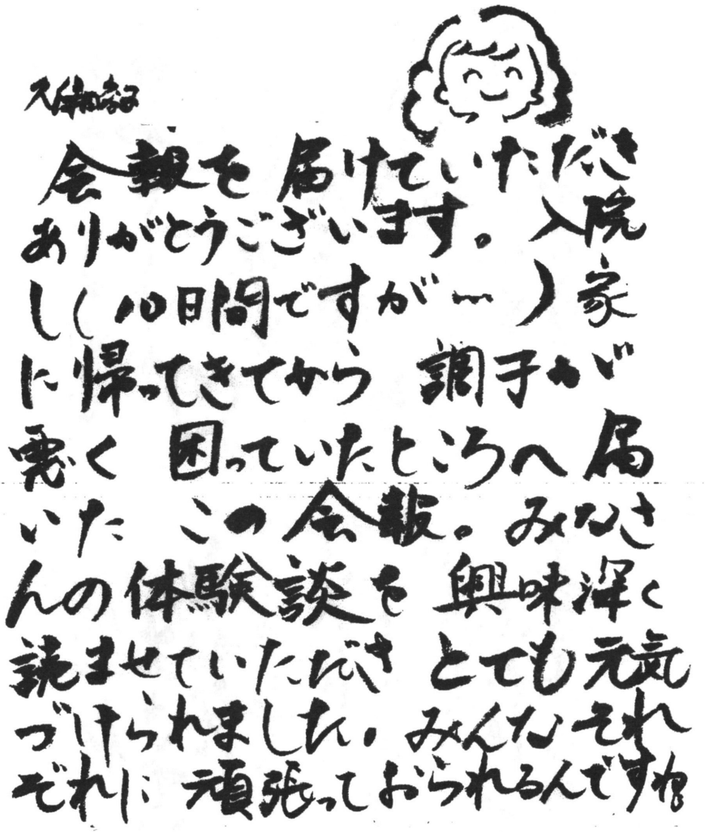
鎌田清美さん連絡先：〒610－0331　京都府京田辺市田辺南里 38－15
鎌田清美　　Tel　：0774-63-6367
携帯：080－2446－7565
mail address：aruchan-kk@mbh.nifty.com

愛知県友の会連絡先：池田幸夫　Tel・Fax　：052-876-1209

滋賀からの便りとがんばり屋さん

詩：久保田容子

滋賀県長浜市高月町にお住まいの久保田容子さんから、ときどき近況が寄せられます。罹患約１５年目の若年性パーキンソン病の方です。
８月９日にもファックスが送られてきました。返礼に電話しましたところお母さんが出られて、「都合により電話に出られません」と言われます。そこで愛知県友の会を名乗って伝言をお願いすると、「娘は今とても苦しんでいて、お話しできる状態ではありません。後ほど電話させますので、暫くお待ちいただけないでしょうか？」



～近況を伝える久保田さんからの手紙～

当夜、苦しみが治まったと久保田さんから電話がありました。お母さんは近くの余呉町にお住まいで、このような時には応援で駆けつけられるようです。

久保田さんの詩は、苦しい中に歯を食いしばり、苦しみを詩に転化させることで病に打ち勝とうとしておられる姿に感銘をうけます。その闘病詩は、会報 45･46･48 号などで紹介されています。

会員の方も、苦しみを乗越えるためにあらゆる方法を考えておられます。絵手紙や写真や絵に熱中すると全て忘れてしまう方、障害者野球チームに所属して全国を飛び回

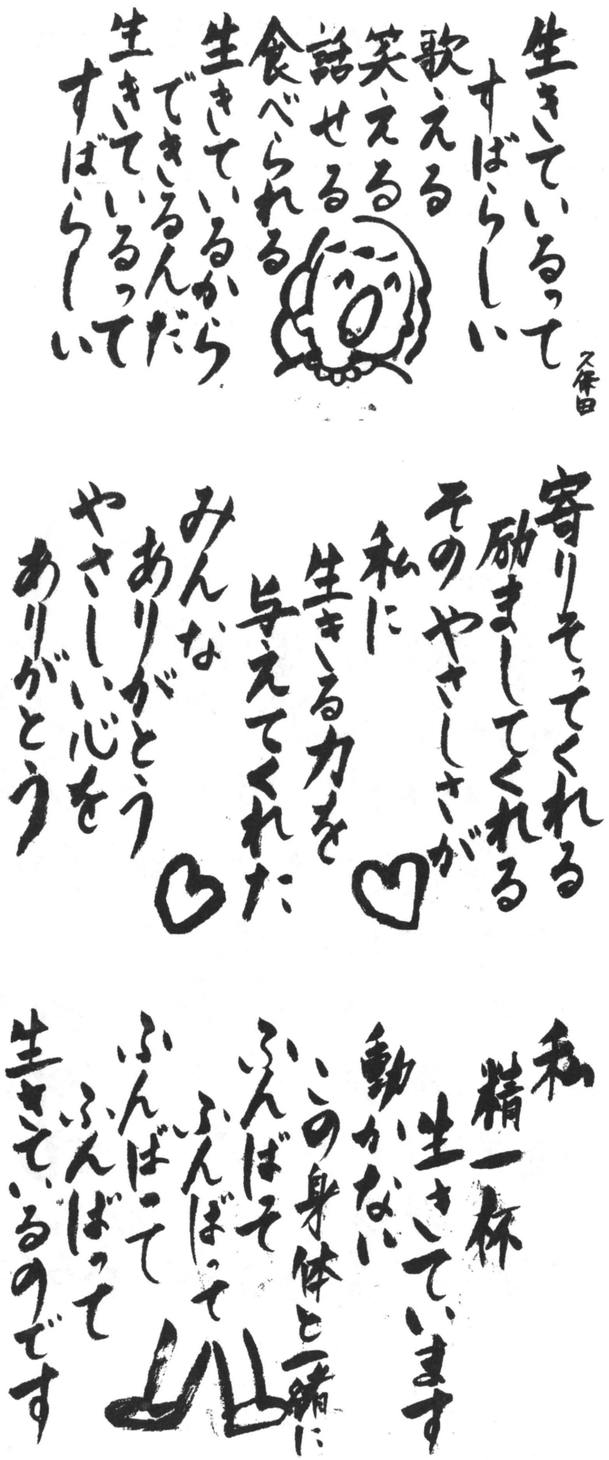
っておられる方、セミプロ級の腕前で剣舞の舞台に立たれる方，夫婦揃って助け合っておられる方、カラオケで歌うと病が吹き飛んでしまう方等々、多くの方が何らかの方法を持っておられました。苦しみをひと時でも忘れることはできないか？　その為にはどうしたらいいか？

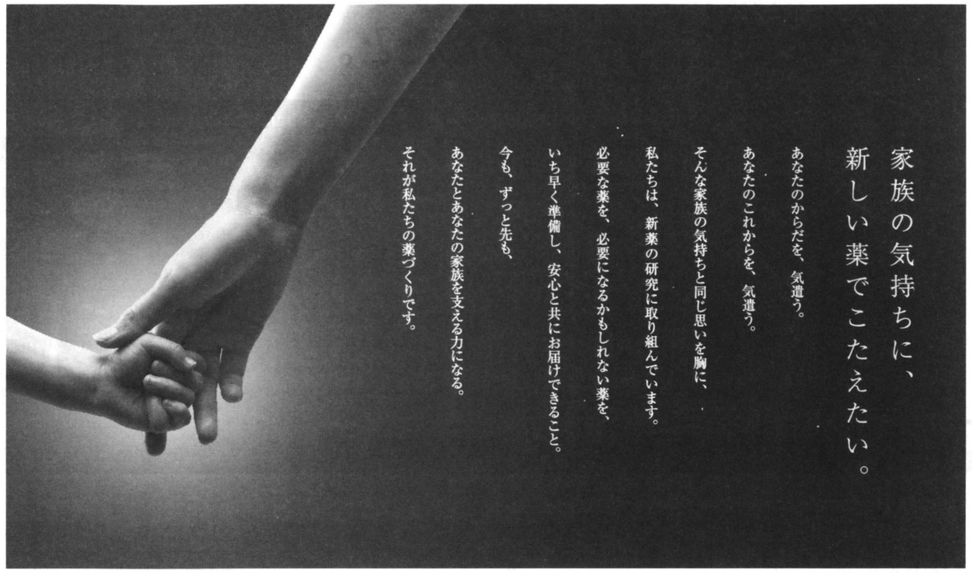
それにはその術を既に持っておられる方を紹介するのも一つの方法だと思って、平成21年8月（46号）頃から紹介を始めました。
今では『がんばり屋さん』と名を変えて続いています。

会員の皆さんにお聞きしたところでは、散歩やショッピング等を通じて、
＊　一日一回は外に出ること
＊　挨拶でも何でも、他人と一日一度は話すこと
などががんばり度を維持する基本のようです。

私自身はパーキンソン病ではありませんが、5月に病気をしました。
今はリハビリの真最中ですが、今度は自分のために何かを見つけねばと思っています。

（文・池田幸夫）





大日本住友製薬
www.ds-pharma.co.jp

人を見つめる。生きるものを見つめる。

何よりも、いのちを大切に思う存在でありたい、そう思うのです。
私たちは、バイオテクノロジーという分野で、医薬品の研究開発に取り組み、いのちを見つめてきました。だからこそ、抗体医薬をはじめとする世界が待ち望む新薬を他にはないスピードで届けられると信じています。
これからも、がん・腎・免疫疾患を中心とした領域で、世界中のかけがえのないいのちに貢献できる「グローバル・スペシャリティファーマ」をめざして。

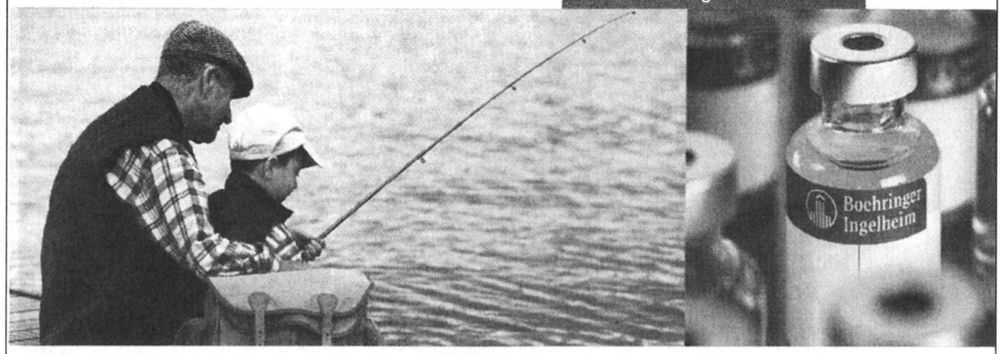
バイオの力で、薬の可能性を広げていく。
私たちは、「協和発酵キリン」です。

KYOWA KIRIN

協和発酵キリン株式会社
www.kyowa-kirin.co.jp

健やかな関係、ずっとあなたと。

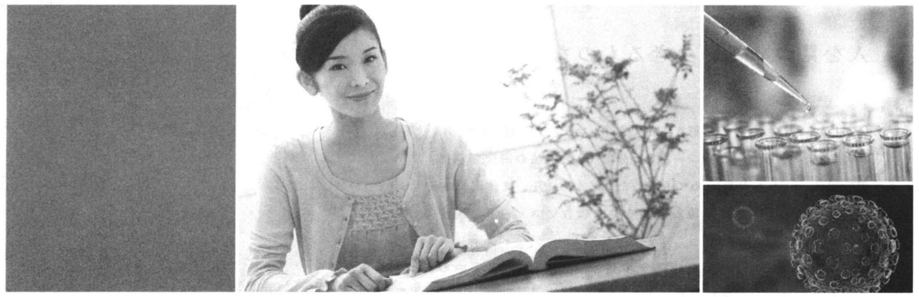
Value through Innovation



私たちは画期的な新薬の開発に挑むグローバルな
製薬企業グループの一員です。
私たちは薬を通して、人と地域と世界と、
健やかな関係を築いていきます。

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
http://www.boehringer-ingelheim.co.jp/
本社／〒141-6017 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower

Boehringer
Ingelheim



新薬で人々のいのちと健康に貢献します。

私たちノバルティス ファーマは、
分子標的薬や抗体医薬など最新の技術を生かして、
世界で140もの開発プロジェクトを進めています。
くすりを必要としている患者さんに、革新的な新薬を。
ノバルティス ファーマの新薬は、これからも進化を続けます。

NOVARTIS

ノバルティス ファーマ株式会社
〒106-8618 東京都港区西麻布4丁目17番30号
http://www.novartis.co.jp/

健康—12

冬季の心筋梗塞

H23.10　59号

＊ 心筋梗塞を起し易い性格の人

＊ 心筋梗塞を起し易い天気

出典：タケシの家庭の医学　H22.12.21
みんなの家庭の医学　H23. 2.22

現在、死亡率第２位が心筋梗塞だそうです。日常の生活態度に起因することが多く、12 月から３月の寒い時期に集中して発生しやすいようです。生活習慣を改めることと心筋梗塞を起し易い日を知り、寒さ対策に注意（足・足首の保温など）することで予防したいものです。

（１）心筋梗塞を起し易い性格の人の性格問診　　葉山ハートセンター病院　上野 Dr

次の質問で、あなたはＡ型ですか？　またはＢ型ですか？

	質問	A	B	あなた
問１	友人と待ち合わせをした時、	約束の時間前に着く	ギリギリか、遅れる	
問２	交差点で信号待ちしてる時に	車の流れをチェック	信号を見ている	
問３	パソコンを起動した時、	起動まで別の仕事を	起動するまで待つ	
問４	満員のスーパーでレジ待ちしているとき	空いたレジに移動	代わらずそのまま待つ	
問５	カラオケで歌い終わった時	終わりは聴かない	全部終るまで聴く	
問６	携帯の着信待ちを･･･	まとめてチェックする	何回も気付かない	
問７	エスカレーターにのるとき、	歩いて上がる	止まったまま上がる	
問８	駐車場を出るとき　･･･	前もって御金を用意	出口に来て用意する	
問９	休日の予定　･･･	予定は必ず入れる	予定の無い事が多い	
問10	ラストシーンでエンドロールが流れたら　･･･、	すぐ席を立つ	最後まで見る	
合計	**あなたのＡの数は何個か？**			

判定：Ａの数が７個以上有れば、あなたは心筋梗塞になりやすい！
Ａの多い人は、せっかち・イライラ・短気な性格の人に多い→Type・A（agressive）

＊心筋梗塞発見の契機
・1959 年、フリードマン Dr（米国）が Type－A として発表
・発見の契機　･･･　心臓外科医のフリードマン Dr は他科の椅子はきれいなのに、心臓病患者は浅く腰掛け、イライラして待っているために椅子は引っかいたような細かい亀裂が無数に発生していることに気付いた。以後、症例と調査の結果、上記性格の影響を断定したもの
＊現在の診断は、CT 検査で心臓の冠動脈をチェックする事で科学的に判断できます。

（2）心筋梗塞を起し易い天気とはどのような時か？

気温の変化と心筋梗塞発症の関係を坂口さんの例で診断してみると；

・・・　広島県医師会と日本気象協会との協同で、心筋梗塞から生還した人の研究

症例：坂口枝織さん（75）の発症前後の昼間の気温の変化と発症時の気温

1月1日	1.9℃	
1月2日	7.6℃	
1月3日	7.3℃	
1月4日	8.9℃	→　汗ばむほどの天気だった
1月5日	6.5℃	
1月6日	2.1℃	→　夜、心筋梗塞発症して入院した

注：問題なのは一日の日間気温差ではなく、2～3日の温度差が問題である

・寒いと血管は収縮し、暖めようとすると細くなって血栓などが詰まる

・暑いと血管は開放し、涼しくしようとして太くなる

（3）春先の危険な時期とはどのような時か？

① 暖かい日から寒い日に変わる境が危険！

雨が降りそうな雲行きなのに、生暖かい空気が流れるよう日

② 天気図で、寒冷前線が日本列島を通り過ぎ、東に位置している時は寒い。

この様は配置図の時は、空気が生暖かい。

寒冷前線の北は寒く、　寒冷前線の南は暖かい

③ 春先の危険な時期は；

＊春一番タイプ　・・・　春の訪れが近い事を知らせる合図で、吹いた後は寒くなる

＊菜種梅雨の時期　・・・　一般に3月上旬

寒冷前線は太平洋上にある

（4）寒さから身を護る方法　・・・　保温性のある衣服の着用、首・足首を暖める

保温力を表す指数で、クロー値と言う。1.65クロー値以上を保つ事が必要。

～保温力のある服装の一例とクロー値～

ショーツ	0.02		ブラジャー	0.01	
シャツ	0.02		チノパン	0.22	
セーター	0.25		ダウン	0.70	
マフラー	0.25	？	靴下	0.20	？

これだけ着て、合計1．67クロー値

竹頭木屑

越澤　博

○ 夏味美饌・なつあじびせん

西区幅下(浅間町交差点)に八百彦本店（お料理・仕出し専門店）があります。友の会の総会、一日交遊会の時、昼食をお願いしています。味はもとより後片付けまで確りやってくれますので助かっています。７，８年値段も変わらず、みなさんに美味しいと評判です。

創業は享保年間といいますから驚きです。八代将軍吉宗の尾張名古屋の城下町の絵図に八百彦の茶店が描かれています。（東洋文庫蔵）

現在は名古屋城本丸御殿復元プロジェクトを応援したり、割り箸のリサイクル運動にも取り組まれています。割り箸１５０膳（３００本）で、ティッシュペーパー１箱が再生できるそうです。割り箸３膳（６本）で、A4のコピー用紙が１枚再生できるそうです。

○ 歳月人を待たず

友の会に入会して１０年を越えました。当時はまだ体力もあり、妻も不自由ながらも自力で動けました。「足すくむ病の不思議去年今年」そのころの妻の年賀状にあった句です。丹羽さんには大変お世話になりました。丹羽さんの元気に圧倒されて、妻は今飲んでいる薬を捨てて丹羽さんの飲んでいる薬をそっくりいただきたいと言って叱られたことがありました。

当時の会員数は１８０ほどでしたが今では２７７となっています。しかも、この１０年で１８０人のうち、過半数の方が退会され、その分、新しい方が増えています。友の会発展のためにも新しい方の中からどんどん役員に立候補してください。役員交代の時が来たようです。

私ごとで恐縮ですが妻の病状もすすみ、今では全く人任せの状態です。昼食なども「食べたくない」と言っていながらも、口まで運んでやると結構美味しそうにたいらげます。体重３７キロ、エネルギーの消耗が激しいようです。また、曜日の感覚がなくなりました。唯一のたのしみは音楽療法で鵜飼先生から頂いたボイストレーニング、服部医院からいただいた、見ながらできる音楽療法の DVD を繰り返し見ています。声は満足に出ませんが見ているだけで楽しそうです。

○ デーサービス

週３日、デーサービスに通っています。整形外科医院に併設されたやや大きめの施設で、日、祝日は休みです。ケアマネージャーが心配して１０人足らずのこじんまりした施設を紹介してくれました。こちらは年中無休で、必要なら夜も預かってくれます。ヘルパーさんも良く話し掛けてくれ、家族的で喜んでいます。話し掛ければ結構話ますよ、ヘルパーさんの声です。こういう施設が増えているそうです。ご参考まで。

1971年8月　7日　第3種郵便物認可　毎月1・6の日発行
2011年9月24日　発行　　増刊通巻第7379号
ＳＳＫＡ一般社団法人全国パーキンソン病友の会会報・愛知県版５９号

〔原稿の募集〕　あなたの生活体験、生きる喜び、こんな事ができます、
友の会と私など実体験を書いて下さい。
あなたの体験が、どこかで誰かを勇気づけています。

〔原稿送付先〕

＊　郵　送：〒458－0812　名古屋市緑区神の倉４－149－4
池田　幸夫
＊　FAX　：052－876－1209
＊　メール：ikeda11009@tea.ocn.ne.jp

〈編集後記〉

○　台風１２号の影響で、９月の役員会を延期せざるをえませんでした。こちらは延期するぐらいですみましたが被災されました方々には心からお見舞い申しあげます。
○　朝晩は凌ぎやすくなりましたが、日中の暑さにはお手上げです。どうぞ、体調にお気をつけください。
○　１０月号は１日発送ですので、何かしら編集に急がされました。誤字、脱字等なくすよう気をつけていますが、おかしなところがありましたらご教授ください。越澤

・編集人　：　愛知県パーキンソン病友の会　　池田　幸夫
・発行人　：　特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会
〒１５７－００７３　東京都世田谷区砧　６－２６－２１
ＴＥＬ：０３－３４１６－１６９８
ＦＡＸ：０３－３４１６－３１２９
・加入者　：　全国パーキンソン病友の会愛知県支部　　越澤　博
〒４５８－０８４７名古屋市緑区浦里１－６８－５０８
ＴＥＬ／ＦＡＸ　０５２－８９１－３４８２
メール koshizawa@oregano.ocn.ne.jp
・定価　　：　５００円